

## 第4回 伊勢原市第3期教育振興基本計画策定委員会議事録

- 1 開催日時  
令和4年10月27日（木）午後2時から2時50分まで
- 2 開催場所  
市役所 3階 全員協議会室
- 3 策定委員会委員  
委員長 兼平 賢治  
副委員長 佐伯 妙有  
委員 臼井 裕二  
委員 石塚 京子  
委員 永井 武義
- 4 説明のために出席した職員等  
教育長 山口 賢人  
教育部長 大山 剛  
学校教育担当部長 濱田 保  
歴史文化推進担当部長  
（兼）歴史文化担当課長 立花 実  
参事（兼）教育総務課長 熊澤 信一  
学校教育課主幹  
（兼）学校給食係長 加納 ゆき  
教育指導課長 嶋本 信之  
社会教育課社会教育係長 山内 温子  
図書館・子ども科学館長 杉山 麻里  
教育センター所長 須永 尚世  
スポーツ課長 細野 徹  
子ども育成課長 稲葉 一弘  
子ども家庭相談課長 岡村 純一  
青少年課長 神崎 速夫  
教育総務課主幹（兼）総務係長 吉田 千恵子  
教育総務課主事 高坂 麻里
- 5 傍聴人  
0人
- 6 主な議事内容  
(1) 第3回策定委員会の振り返り

(2) 伊勢原市第3期教育振興基本計画（素案）について

(3) その他

○

午後2時00分 開会

○事務局【高坂麻里】 定刻となりました。ただいまから、第4回策定委員会を開会いたします。

本日の会議は、おおむね1時間、午後3時をめぐりに進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、次第の2、教育長挨拶です。山口教育長よろしく願いいたします。

○教育長【山口賢人】 (あいさつ)

○事務局【高坂麻里】 ありがとうございました。

次に、事務局から資料の確認をさせていただきます。(資料確認)

それでは、議事の進行は兼平委員長にお願いしたいと思います。

兼平委員長、よろしく願いいたします。

○委員長【兼平賢治】 それでは、議事を進めてまいります。会議が円滑に進行しますよう、皆様の御協力をお願いしたいと思います。

本日は、出席委員は5名です。全委員の半数以上の出席となりますので、伊勢原市教育振興基本計画策定委員会設置要綱の規定に基づいて会議が成立することを報告いたします。

それでは、次第の3、第3回策定委員会の振り返りと、次第の4、伊勢原市第3期教育振興基本計画（素案）について、事務局から説明をお願いします。

○教育総務課主幹（兼）総務係長【吉田千恵子】 次第の3、第3回策定委員会の振り返りと次第の4、第3期教育振興基本計画（素案）について、資料の1及び資料2を用いまして説明させていただきます。

(第3回策定委員会の振り返り及び計画素案について説明)

○委員長【兼平賢治】 ただいまの説明を受けまして、御質問や御意見をお願いしたいと思います。計画素案は第5章までありますので、まずは、第1章から第2章まで、ページで申し上げますと1ページから20ページまでの内容についてお願いします。

○委員【佐伯妙有】 12ページの特別支援のところなんですが、グラフでは小学校は右肩上がりなのに中学校では横ばいになるのはどうしてですか。

○教育センター所長【須永尚世】 小学校におきましては、入学当初は通常級で過ごしていても、生活を続けていくうちに特別支援学級での支援を受けたいと思うようになり、在籍替えをするお子さんがいらっしゃいます。中学校は通常級からの在籍替えはあまりない状況です。

○委員【佐伯妙有】 小学校で早くから支援級での対応ができるようになった

ということですね。

○教育センター所長【須永尚世】　　そうです。

○委員【永井武義】　　各施策において、本計画ではSDGsに対応しているとか、関連性を示していることがわかる標記があるとよいと思いますが。

○参事（兼）教育総務課長【熊澤信一】　　御意見ありがとうございます。30、31ページの施策の構成と見方のところでも、本計画がSDGsに対応している旨を示していますが、もう少しわかりやすくお示しできるように検討いたします。

○委員【佐伯妙有】　　特別支援学級に在籍する子どもの数が増えることと、支援を必要とする子どもが増えることは違うと思うのですが、12ページのグラフでは毎年特別支援を必要としている子どもが増えているような印象を与えてしまうと思うんですね。

○参事（兼）教育総務課長【熊澤信一】　　きめ細かく対応することで特別支援学級に在籍する子どもが増えているということになっていると思われま。

○委員【佐伯妙有】　　親御さんの認識も変わってきていると思います。

○教育長【山口賢人】　　私の認識ではインクルーシブ教育も進んでいますので、通常級に在籍している子どもの中に、このグラフに表れてこないが特別な支援を必要としている子どもは増えていると感じています。

○委員【佐伯妙有】　　わたしもそう思います。幼稚園でも増えていると思います。グラフでは見えてこないところを、どこかで表すことができないでしょうか。

○参事（兼）教育総務課長【熊澤信一】　　そのあたり数値化するのは難しいところもありますが、何か今のご意見が表せるような表現を検討したいと思います。

○委員長【兼平賢治】　　では私から。17ページの「市民の学びを促しています」とありますが、これですと少し強い印象を受けるので、「市民の学びをサポートしています」等の表現の方がよいのではないのでしょうか。

○教育総務課主幹（兼）総務係長【吉田千恵子】　　御意見ありがとうございます。適切な表現を検討させていただきます。

○委員長【兼平賢治】　　それでは次に第3章、21ページから27ページまでの内容で何かご意見はありますか。

　　では私から、「取組」と「取り組み」の2つの表現がありますので、統一させた方がよいかと思ひます。

　　それでは次に第4章、第5章、28ページから68ページまでの内容でご意見等があればお願いします。

○委員【石塚京子】　　施策1の34ページに教科担任制と教科担当制がありますが、これはどう違うのですか。

○教育指導課【嶋本信之】　　国県による制度が教科担任制、本市独自の施策が教科担当制となります。

○教育長【山口賢人】　　補足をしますと、本市で教科担当制を始めたのは国や県より早いのですが、教科を中学校のように教科担任としてやるだけではなく、みんなで教科を持ち合う中で、集団で子どもたちを見ていきましょう、集団指導体制を作っていくましようというのが一番大きな趣旨なんです。国や県が言って

いる授業の専門性をもっている人が教えることを目的とした教科担任制とは、似ていますがかなり違うものです。そのため、あえて本市では教科担当制という名称を使っています。

○参事（兼）教育総務課長【熊澤信一】 表現が似ていても内容が異なるものなので、欄外を使って一般の方にもわかりやすく、説明を加えたいと思います。

○委員【永井武義】 第5章はこの後に何か続くのですか。

○参事（兼）教育総務課長【熊澤信一】 素案の段階では、計画の進行管理の考え方のみお示しさせていただきますが、教育委員会の点検評価については、もう少し詳しく標記できるか検討いたします。

○委員【石塚京子】 施策10に子ども科学館の取組を加えましたが、新たに指標を設定しなくてもよいのですか。

○参事（兼）教育総務課長【熊澤信一】 指標の設定については、施策の取組方針ごとに1つずつ設定させていただいていますので、委員ご指摘の部分については、取組方針の(3)の指標で施策の進捗状況を把握することになります。

○委員長【兼平賢治】 31ページの施策の構成と見方に、用語の説明についての表記があった方がよいと思います。また54ページの「ZOOM」は「オンライン」などの表現の方がよいと思います。私の方からは以上です。

それでは次第の5、その他になりますが、委員の皆様から追加の質問や全体を通してのご意見等がありましたらお願いします。

○委員【永井武義】 今後のスケジュールはどうなるのですか。

○教育総務課主幹（兼）総務係長【吉田千恵子】 今後のスケジュールでございしますが、策定委員会は本日の第4回目の会議を持ちまして終了となります。この後は本日いただいたご意見を踏まえパブリックコメントの最終案を作成し、11月の部長会議を経て市議会へ報告後パブリックコメントの実施となります。パブリックコメント実施後は市民の皆様からいただいたご意見を踏まえて計画案を作成し、教育委員会2月定例会へ議案上程。そこでご承認いただけましたら3月の市議会へ報告し、公表となります。

○委員長【兼平賢治】 それでは、これで本日の議事は終了しましたので、進行を事務局へお返ししたいと思います。

○事務局【高坂麻里】 兼平委員長ありがとうございました。本日いただいたご意見を踏まえ、12月初旬から約1か月間で実施いたしますパブリックコメント案を作成いたします。なお、この案のまとめにつきましては、座長の兼平委員長と事務局にご一任いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

（委員：異議なし）

○事務局【高坂麻里】 ありがとうございます。パブリックコメント案が出来上がりましたら委員の皆様にお届けいたしますのでご承知おきください。全4回に渡り皆様から貴重なご意見を賜りましたこと、お礼を申し上げます。

○教育部長【大山部長】 これまで第4回に渡り、策定委員会ではそれぞれの

お立場から貴重なご意見をいただきました。現在、本計画と並行して本市の第6次の総合計画も策定中ですが、市を取り巻く環境としましては、皆さんご承知のとおり、コロナ禍の3年間を経て、これまで誰もが経験したことのない状況を受けての計画策定となります。学校施設の老朽化やコミュニティ・スクールを始めとする地域との協働等の新たな課題も多々ありますが、皆さんからいただいたご意見をもう1度検証しながら、教育委員会の今後5年間の指針となる計画を策定していきたいと思っております。本当に皆さんありがとうございました。

○事務局【高坂麻里】 それでは以上を持ちまして、伊勢原市第3期教育振興基本計画策定委員会を終了させていただきます。大変お疲れ様でした。

----- ○ -----  
午後2時50分 閉会